

I 令和元年鉱工業指数の動向

1 概況

令和元年の本県の鉱工業指数(原指数)は、平成27年を100.0とした年平均で見ると、

生産指数は87.1となり、対前年比で3.3%の低下となった。
 生産者出荷指数は77.4となり、対前年比で4.9%の低下となった。
 生産者製品在庫指数は79.7となり、対前年比で5.4%の上昇となった。

本県鉱工業の推移をみると、生産指数は平成30年から2年連続低下した。出荷指数は生産指数と同じく2年連続低下した。在庫指数は平成30年から2年連続上昇した。

生産指数の低下要因を業種別にみると、化学・石油製品工業、食料品工業、窯業・土石製品工業などの低下により、全体として対前年比3.3%の低下となった。

出荷指数の低下要因を業種別にみると、食料品工業、化学・石油製品工業、窯業・土石製品工業などの低下により、全体として対前年比4.9%の低下となった。

在庫指数の上昇要因を業種別にみると、金属製品工業、その他の工業、窯業・土石製品工業などの上昇により、全体として対前年比5.4%の上昇となった。

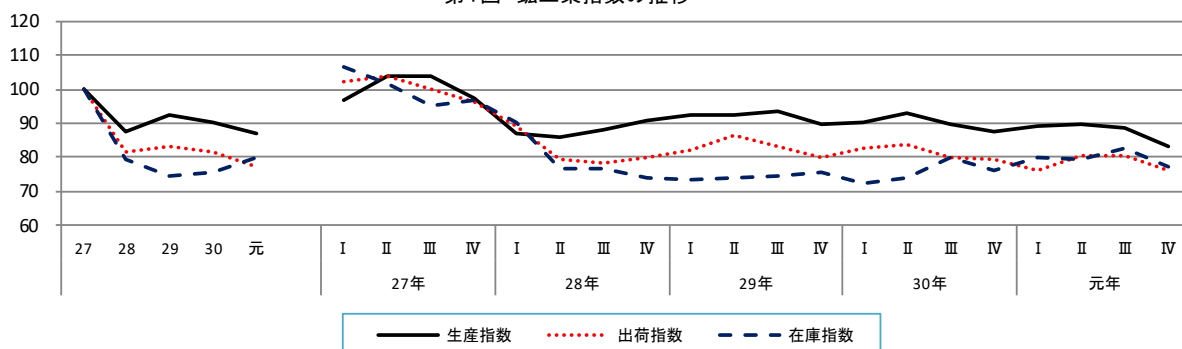
第1表 鉱工業指数(原指数)・対前年比(%) 平成27年=100.0

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	
生産指数	100.0	87.6	92.4	90.1	87.1	
前年比(%)		▲ 1.9	▲ 12.4	5.5	▲ 2.5	▲ 3.3
出荷指数	100.0	81.4	83.0	81.4	77.4	
前年比(%)		▲ 4.9	▲ 18.6	2.0	▲ 1.9	▲ 4.9
在庫指数	100.0	79.3	74.2	75.6	79.7	
前年比(%)		▲ 8.9	▲ 20.7	▲ 6.4	1.9	5.4

第2表 鉱工業指数(季節調整済指数)・対前期比(%) 平成27年=100.0

	平成30年				令和元年			
	I期	II期	III期	IV期	I期	II期	III期	IV期
生産指数	90.2	92.8	89.8	87.6	88.9	89.5	88.6	83.4
前期比(%)	0.3	2.9	▲ 3.2	▲ 2.4	1.5	0.7	▲ 1.0	▲ 5.9
出荷指数	82.5	83.8	80.1	79.1	76.3	80.2	80.3	75.8
前期比(%)	3.5	1.6	▲ 4.4	▲ 1.2	▲ 3.5	5.1	0.1	▲ 5.6
在庫指数	72.2	73.8	80.0	76.3	79.7	79.4	82.6	77.4
前期比(%)	▲ 4.2	2.2	8.4	▲ 4.6	4.5	▲ 0.4	4.0	▲ 6.3

第1図 鉱工業指数の推移



※年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数

(1)生産

生産指数(指数水準87.1、対前年比3.3%減)

生産の上昇に寄与した業種は、化学・石油製品工業、食料品工業、窯業・土石製品工業などの7業種であった。

生産の低下に寄与した業種は、金属製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業などの2業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I期(指数水準88.9、対前期比1.5%増)

生産の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比12.5%増)などの5業種であった。

生産の低下に寄与した業種は、食料品工業(対前期比1.1%減)などの4業種であった。

II期(指数水準89.5、対前期比0.7%増)

生産の上昇に寄与した業種は、食料品工業(対前期比3.4%増)などの4業種であった。

生産の低下に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比47.9%減)などの5業種であった。

III期(指数水準88.6、対前期比1.0%減)

生産の低下に寄与した業種は、食料品工業(対前期比5.0%減)などの5業種であった。

生産の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比12.3%増)などの4業種であった。

IV期(指数水準83.4、対前期比5.9%減)

生産の低下に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比19.9%減)などの7業種であった。

生産の上昇に寄与した業種は、プラスチック製品工業(対前期比8.1%増)などの2業種であった。

第3表 業種別生産指数の動き

平成27年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数					対前年(期)上昇率(%)					
					H29	R元				原指数		季節調整済指数			
		29年	30年	元年	IV期	I期	II期	III期	IV期	30年	元年	I期	II期	III期	IV期
鉱工業	10000.0	92.4	90.1	87.1	87.6	88.9	89.5	88.6	83.4	▲ 2.5	▲ 3.3	1.5	0.7	▲ 1.0	▲ 5.9
鉄鋼業	353.7	109.4	102.1	100.0	94.6	99.6	102.2	104.0	95.3	▲ 6.7	▲ 2.1	5.3	2.6	1.8	▲ 8.4
金属製品工業	1340.2	101.4	108.3	112.2	102.3	115.1	110.0	123.5	98.9	6.8	3.6	12.5	▲ 4.4	12.3	▲ 19.9
窯業・土石製品工業	1794.1	99.3	98.3	95.2	93.8	95.6	97.3	96.2	94.1	▲ 1.0	▲ 3.2	1.9	1.8	▲ 1.1	▲ 2.2
化学・石油製品工業	697.6	51.1	45.7	25.0	40.0	42.4	22.1	19.7	19.4	▲ 10.6	▲ 45.3	6.0	▲ 47.9	▲ 10.9	▲ 1.5
プラスチック製品工業	171.9	103.1	99.1	101.4	100.0	97.7	104.0	95.2	102.9	▲ 3.9	2.3	▲ 2.3	6.4	▲ 8.5	8.1
パルプ・紙・紙加工品工業	160.2	99.2	102.3	99.8	101.1	100.9	99.8	100.3	98.4	3.1	▲ 2.4	▲ 0.2	▲ 1.1	0.5	▲ 1.9
食料品工業	4534.5	89.2	84.3	82.4	83.7	82.8	85.6	81.3	81.2	▲ 5.5	▲ 2.3	▲ 1.1	3.4	▲ 5.0	▲ 0.1
その他の工業	809.0	104.3	100.5	95.0	101.2	99.8	97.8	97.6	86.7	▲ 3.6	▲ 5.5	▲ 1.4	▲ 2.0	▲ 0.2	▲ 11.2
鉱業	138.8	91.8	102.4	93.8	98.9	99.4	88.7	93.3	94.6	11.5	▲ 8.4	0.5	▲ 10.8	5.2	1.4

注) その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業を統合したもの。

(2) 出荷

出荷指数(指数水準77.4、対前年比4.9%減)

出荷の低下に寄与した業種は、食料品工業、化学・石油製品工業、窯業・土石製品工業などの7業種であった。

出荷の上昇に寄与した業種は、金属製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業などの2業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I 期(指数水準76.3、対前期比3.5%減)

出荷の低下に寄与した業種は、食料品工業(対前期比12.3%減)などの3業種であった。

出荷の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比8.0%増)などの6業種であった。

II 期(指数水準80.2、対前期比5.1%増)

出荷の上昇に寄与した業種は、食料品工業(対前期比9.0%増)などの3業種であった。

出荷の低下に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比35.6%減)などの6業種であった。

III 期(指数水準80.3、対前期比0.1%増)

出荷の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比10.9%増)などの4業種であった。

出荷の低下に寄与した業種は、鉄鋼業(対前期比6.5%減)などの4業種であった。

IV 期(指数水準75.8、対前期比5.6%減)

出荷の低下に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比17.6%減)などの8業種であった。

出荷の上昇に寄与した業種は、鉱業(対前期比0.2%増)などの1業種であった。

第4表 業種別出荷指数の動き

平成27年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数						対前年(期)上昇率(%)					
					H30	R元					原指数		季節調整済指数			
		29年	30年	元年	IV期	I 期	II 期	III 期	IV 期	30年	元年	I 期	II 期	III 期	IV 期	
鉱工業	10000.0	83.0	81.4	77.4	79.1	76.3	80.2	80.3	75.8	▲ 1.9	▲ 4.9	▲ 3.5	5.1	0.1	▲ 5.6	
鉄鋼業	516.7	108.8	102.0	100.4	97.9	102.9	106.3	99.4	94.9	▲ 6.3	▲ 1.6	5.1	3.3	▲ 6.5	▲ 4.5	
金属製品工業	934.6	100.0	107.5	110.8	102.9	111.1	109.6	121.5	100.1	7.5	3.1	8.0	▲ 1.4	10.9	▲ 17.6	
窯業・土石製品工業	1377.8	101.0	97.6	95.6	93.2	97.2	96.0	96.0	95.3	▲ 3.4	▲ 2.0	4.3	▲ 1.2	0.0	▲ 0.7	
化学・石油製品工業	1823.3	10.8	10.3	7.2	9.1	10.4	6.7	6.3	5.4	▲ 4.6	▲ 30.1	14.3	▲ 35.6	▲ 6.0	▲ 14.3	
プラスチック製品工業	164.0	103.2	109.2	111.4	107.5	110.9	119.5	112.7	106.5	5.8	2.0	3.2	7.8	▲ 5.7	▲ 5.5	
パルプ・紙・紙加工品工業	163.4	98.8	103.0	99.8	100.6	101.4	100.8	99.1	98.0	4.3	▲ 3.1	0.8	▲ 0.6	▲ 1.7	▲ 1.1	
食料品工業	4332.2	96.5	93.4	86.4	92.7	81.3	88.6	90.2	88.6	▲ 3.2	▲ 7.5	▲ 12.3	9.0	1.8	▲ 1.8	
その他の工業	583.9	102.9	98.3	94.2	98.7	97.6	95.2	96.5	87.2	▲ 4.5	▲ 4.2	▲ 1.1	▲ 2.5	1.4	▲ 9.6	
鉱業	104.1	99.2	104.8	95.3	105.5	104.2	90.1	93.5	93.7	5.6	▲ 9.1	▲ 1.2	▲ 13.5	3.8	0.2	

注) その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業を統合したもの。

(3)在庫

在庫指数(指数水準79.7、対前年比5.4%増)

在庫の上昇に寄与した業種は、金属製品工業、その他の工業、窯業・土石製品工業などの5業種であった。

在庫の低下に寄与した業種は、化学・石油製品工業、鉄鋼業、鉱業などの4業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I期(指数水準79.7、対前期比4.5%増)

在庫の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比80.2%増)などの6業種であった。

在庫の低下に寄与した業種は、その他の工業(対前期比38.8%減)などの3業種であった。

II期(指数水準79.4、対前期比0.4%減)

在庫の低下に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比34.3%減)などの5業種であった。

在庫の上昇に寄与した業種は、その他の工業(対前期比60.9%増)などの4業種であった。

III期(指数水準82.6、対前期比4.0%増)

在庫の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比7.1%増)などの5業種であった。

在庫の低下に寄与した業種は、食料品工業(対前期比1.0%減)などの4業種であった。

IV期(指数水準77.4、対前期比6.3%減)

在庫の低下に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比27.2%減)などの6業種であった。

在庫の上昇に寄与した業種は、鉄鋼業(対前期比4.6%増)などの3業種であった。

第5表 業種別在庫指数の動き

平成27年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数					対前年(期)上昇率(%)					
					H30	R元				原指数		季節調整済指数			
		29年	30年	元年	IV期	I期	II期	III期	IV期	30年	元年	I期	II期	III期	IV期
鉱工業	10000.0	74.2	75.6	79.7	76.3	79.7	79.4	82.6	77.4	1.9	5.4	4.5	▲ 0.4	4.0	▲ 6.3
鉄鋼業	813.0	72.6	83.3	79.1	85.6	77.1	78.2	78.6	82.2	14.7	▲ 5.0	▲ 9.9	1.4	0.5	4.6
金属製品工業	534.3	99.3	174.3	289.1	179.7	323.8	321.8	344.6	250.7	75.5	65.9	80.2	▲ 0.6	7.1	▲ 27.2
窯業・土石製品工業	1231.9	83.9	86.4	87.1	91.3	89.1	87.0	88.4	84.0	3.0	0.8	▲ 2.4	▲ 2.4	1.6	▲ 5.0
化学・石油製品工業	2800.2	20.3	19.8	12.6	17.6	17.8	11.7	10.7	10.2	▲ 2.5	▲ 36.4	1.1	▲ 34.3	▲ 8.5	▲ 4.7
プラスチック製品工業	143.0	127.1	136.4	134.5	136.0	137.3	136.5	138.9	126.5	7.3	▲ 1.4	1.0	▲ 0.6	1.8	▲ 8.9
パルプ・紙・紙加工品工業	91.6	114.9	108.2	111.1	102.3	113.5	117.6	102.5	111.8	▲ 5.8	2.7	10.9	3.6	▲ 12.8	9.1
食料品工業	3415.0	97.0	92.9	93.1	93.2	96.0	93.1	92.2	91.1	▲ 4.2	0.2	3.0	▲ 3.0	▲ 1.0	▲ 1.2
その他の工業	177.2	100.4	160.6	184.0	182.8	111.8	179.9	216.9	222.6	60.0	14.6	▲ 38.8	60.9	20.6	2.6
鉱業	793.8	115.7	73.5	70.3	68.9	71.5	72.0	69.8	68.0	▲ 36.5	▲ 4.4	3.8	0.7	▲ 3.1	▲ 2.6

注1)その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業を統合したもの。

2 業種別の動向

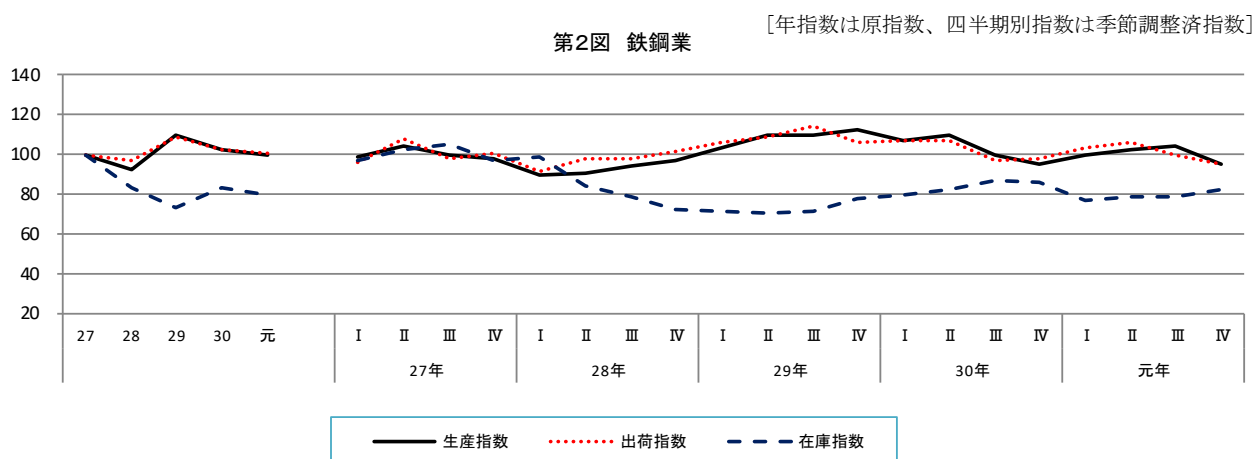
(1) 鉄鋼業

生産指数は100.0（対前年比2.1%減）となった。

出荷指数は100.4（対前年比1.6%減）となった。

在庫指数は79.1（対前年比5.0%減）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は5.3%、Ⅱ期は2.6%、Ⅲ期は1.8%上昇したものの、Ⅳ期は8.4%低下した。



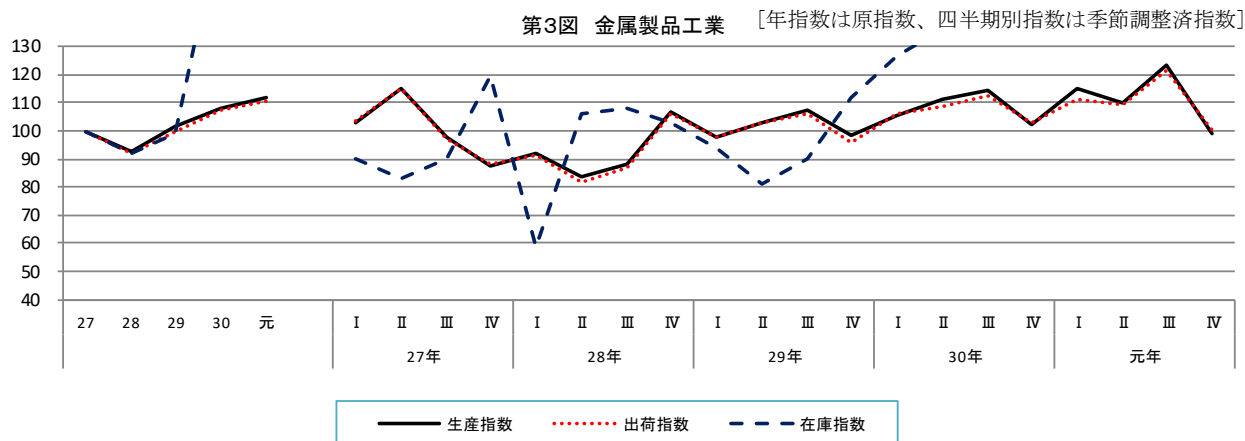
(2) 金属製品工業

生産指数は112.2（対前年比3.6%増）となった。

出荷指数は110.8（対前年比3.1%増）となった。

在庫指数は289.1（対前年比65.9%増）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は12.5%上昇、Ⅱ期は4.4%低下、Ⅲ期は12.3%上昇したものの、Ⅳ期は19.9%低下した。



(3) 窯業・土石製品工業

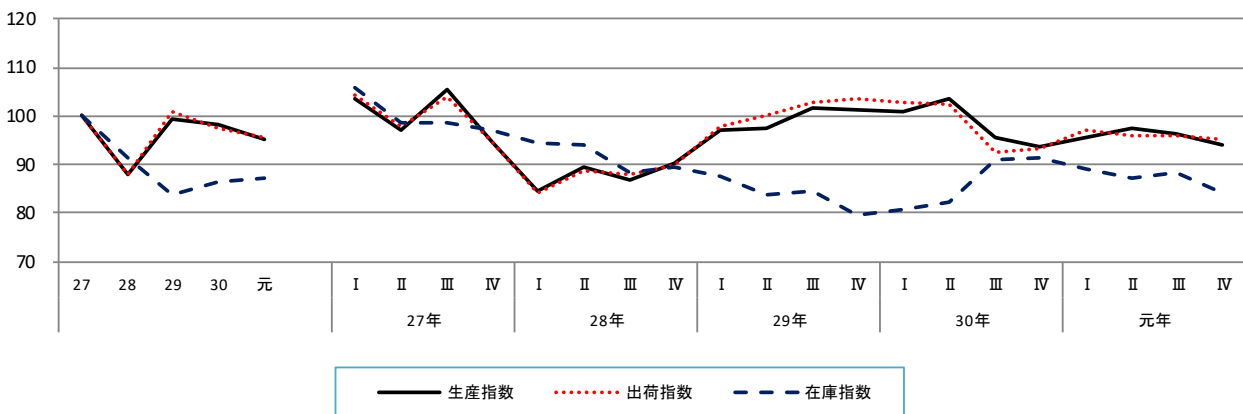
生産指数は95.2（対前年比3.2%減）となった。

出荷指数は95.6（対前年比2.0%減）となった。

在庫指数は87.1（対前年比0.8%増）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は1.9%、Ⅱ期は1.8%上昇したものの、Ⅲ期は1.1%、Ⅳ期は2.2%低下した。

第4図 窯業・土石製品工業 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数]



(4) 化学・石油製品工業

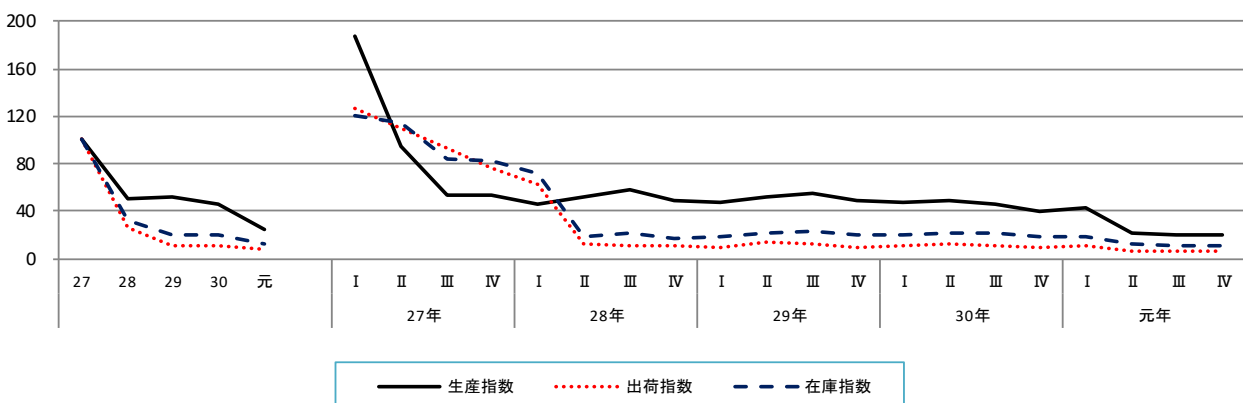
生産指数は25.0（対前年比45.3%減）となった。

出荷指数は7.2（対前年比30.1%減）となった。

在庫指数は12.6（対前年比36.4%減）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は6.0%増加したものの、Ⅱ期は47.9%、Ⅲ期は10.9%、Ⅳ期は1.5%低下した。

第5図 化学・石油製品工業 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数]



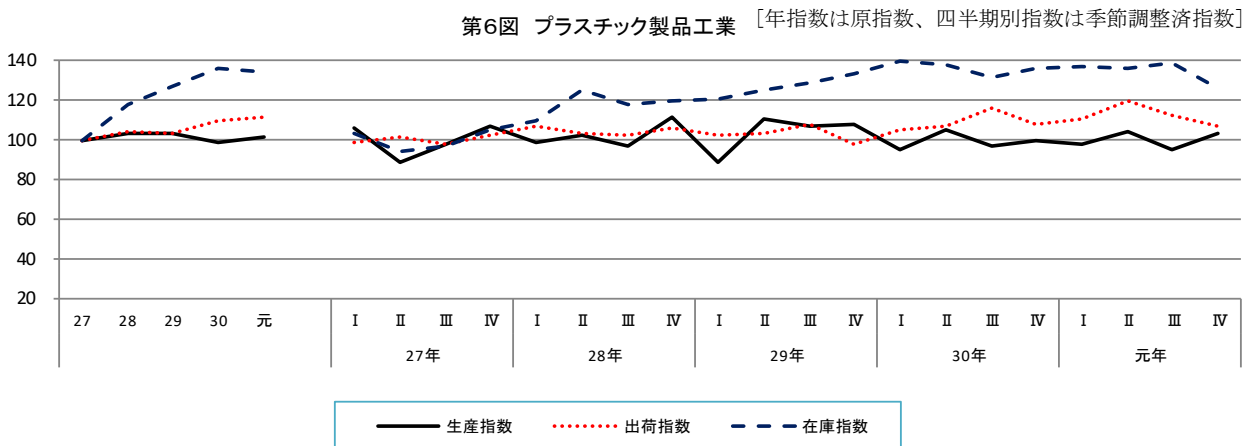
(5) プラスチック製品工業

生産指数は101.4（対前年比2.3%増）となった。

出荷指数は111.4（対前年比2.0%増）となった。

在庫指数は134.5（対前年比1.4%減）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は2.3%低下、Ⅱ期は6.4%上昇しⅢ期は8.5%低下し、Ⅳ期は8.1%上昇した。



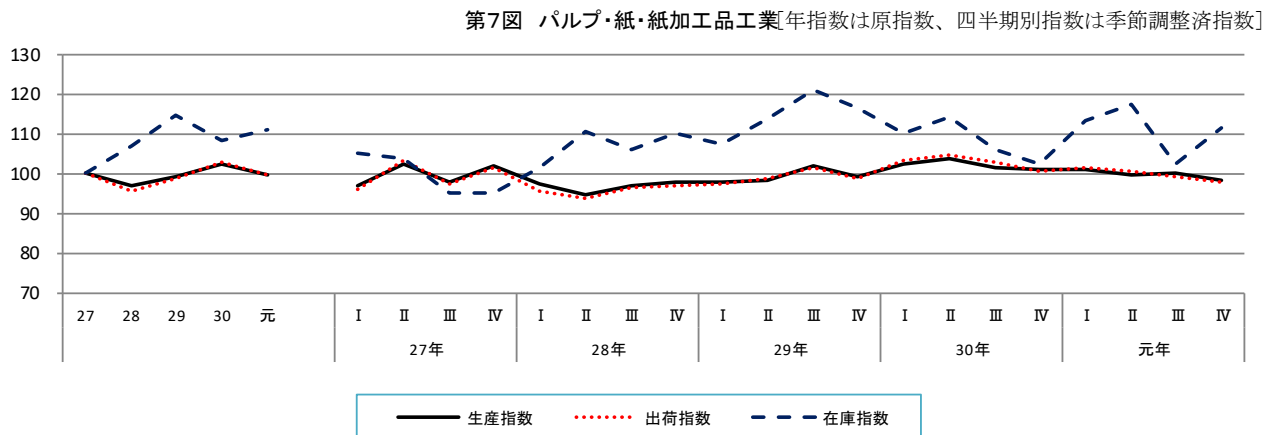
(6) パルプ・紙・紙加工品工業

生産指数は99.8（対前年比2.4%減）となった。

出荷指数は99.8（対前年比3.1%減）となった。

在庫指数は111.1（対前年比2.7%増）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は0.2%、Ⅱ期は1.1%低下し、Ⅲ期は0.5%上昇したが、再びⅣ期は1.9%低下した。



(7) 食料品工業

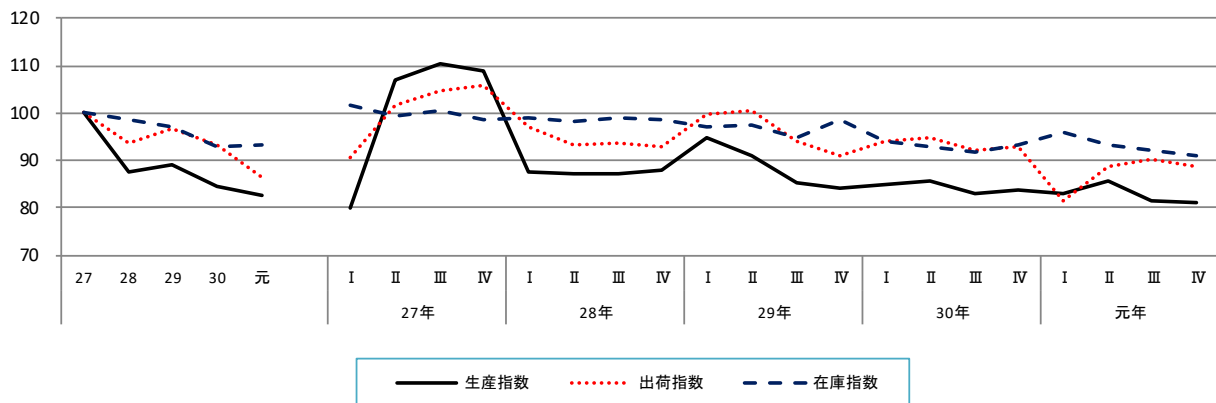
生産指数は82.4（対前年比2.3%減）となった。

出荷指数は86.4（対前年比7.5%減）となった。

在庫指数は93.1（対前年比0.2%増）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は1.1%低下し、Ⅱ期は3.4%上昇したものの、再びⅢ期は5.0%、Ⅳ期は0.1%低下した。

第8図 食料品工業 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数]



(8) その他の工業

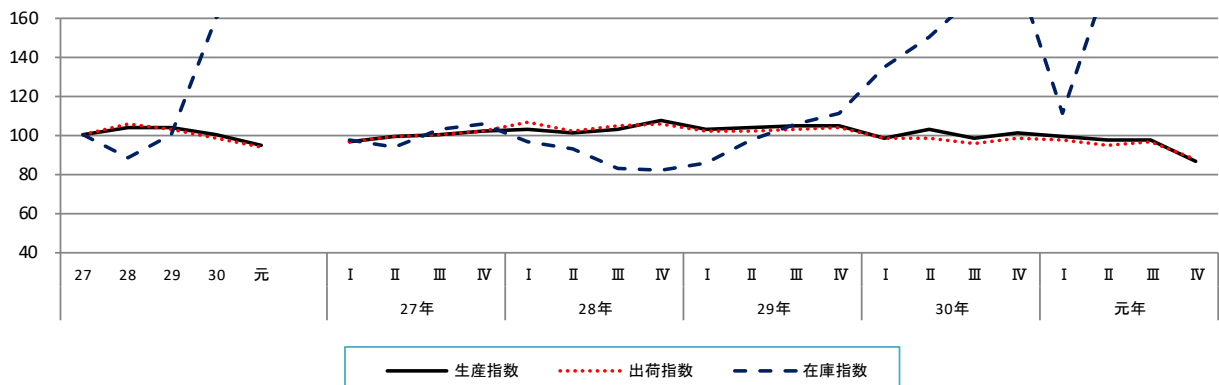
生産指数は95.0（対前年比5.5%減）となった。

出荷指数は94.2（対前年比4.2%減）となった。

在庫指数は184.0（対前年比14.6%増）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は1.4%、Ⅱ期は2.0%、Ⅲ期は0.2%、Ⅳ期は11.2%といずれも低下した。

第9図 その他の工業 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数]



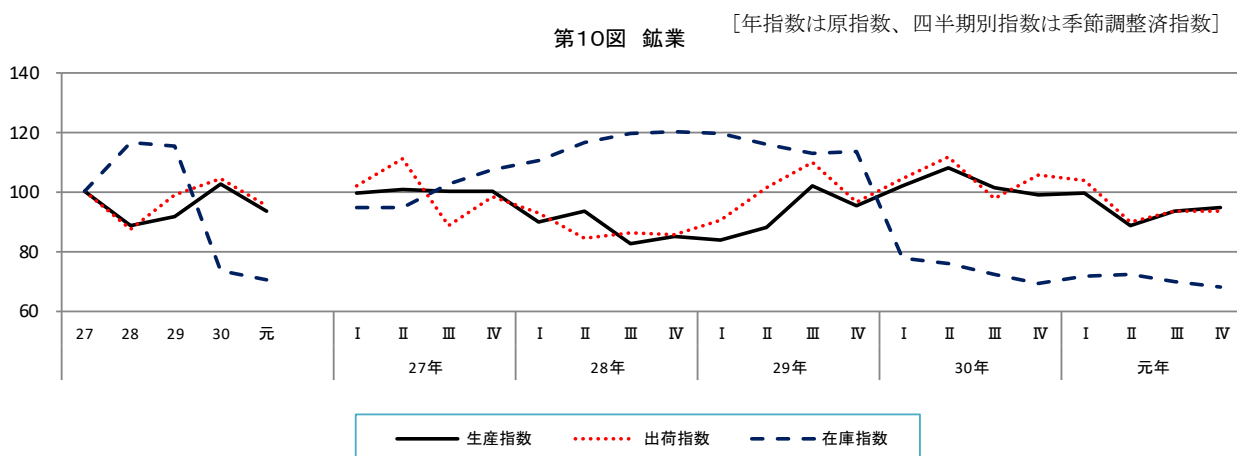
(9) 鉱業

生産指数は指数水準93.8（対前年比8.4%減）となった。

出荷指数は指数水準95.3（対前年比9.1%減）となった。

在庫指数は指数水準70.3（対前年比4.4%減）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、Ⅰ期は0.5%上昇、Ⅱ期は10.8%低下したがⅢ期は5.2%、Ⅳ期は1.4%上昇した。



3 財別の動向

(1) 生産

生産の動向を財別にみると、

最終需要財は97.4となり、対前年比で1.8%の低下となった。
生産財は62.5となり、対前年比で8.6%の低下となった。

最終需要財の投資財は102.9(対前年比0.7%増)、消費財は92.3(対前年比4.3%減)となった。
生産財の鉱工業用生産財は61.4(対前年比1.0%増)、その他用生産財は63.9(対前年比17.8%減)となった。

(2) 出荷

出荷の動向を財別にみると、

最終需要財は94.1となり、対前年比で1.6%の低下となった。
生産財は43.5となり、対前年比で17.3%の低下となった。

最終需要財の投資財は102.4(対前年比0.9%増)、消費財は88.3(対前年比3.4%減)となった。
生産財の鉱工業用生産財は44.8(対前年比26.2%減)、その他用生産財は42.5(対前年比9.2%減)となった。

(3) 在庫

在庫の動向を財別にみると、

最終需要財は106.6となり、対前年比で10.6%の上昇となった。
生産財は35.4となり、対前年比で14.5%の低下となった。

最終需要財の投資財は126.6(対前年比22.1%増)、消費財は92.6(対前年比1.5%増)となった。
生産財の鉱工業用生産財は52.5(対前年比0.9%減)、その他用生産財は19.2(対前年比37.0%減)となった。

第6表 財別生産指数

平成27年=100.0

	ウェイト	生産指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		27年	28年	29年	30年	元年	27年	28年	29年	30年	元年
鉱工業	10000.0	100.0	87.6	92.4	90.1	87.1	▲ 1.9	▲ 12.4	5.5	▲ 2.5	▲ 3.3
最終需要財	7032.8	100.0	94.8	99.6	99.2	97.4	▲ 2.9	▲ 5.2	5.1	▲ 0.4	▲ 1.8
投資財	3425.2	100.0	90.5	98.6	102.2	102.9	▲ 3.7	▲ 9.5	9.0	3.7	0.7
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	3425.2	100.0	90.5	98.6	102.2	102.9	▲ 3.7	▲ 9.5	9.0	3.7	0.7
消費財	3607.6	100.0	98.9	100.5	96.4	92.3	▲ 2.2	▲ 1.1	1.6	▲ 4.1	▲ 4.3
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	3607.6	100.0	98.9	100.5	96.4	92.3	▲ 2.2	▲ 1.1	1.6	▲ 4.1	▲ 4.3
生産財	2967.2	100.0	70.5	75.3	68.4	62.5	0.6	▲ 29.5	6.8	▲ 9.2	▲ 8.6
鉱工業用生産財	1641.9	100.0	59.4	68.8	60.8	61.4	29.2	▲ 40.6	15.8	▲ 11.6	1.0
その他用生産財	1325.3	100.0	84.1	83.2	77.7	63.9	▲ 21.1	▲ 15.9	▲ 1.1	▲ 6.6	▲ 17.8

第7表 財別出荷指数

平成27年=100.0

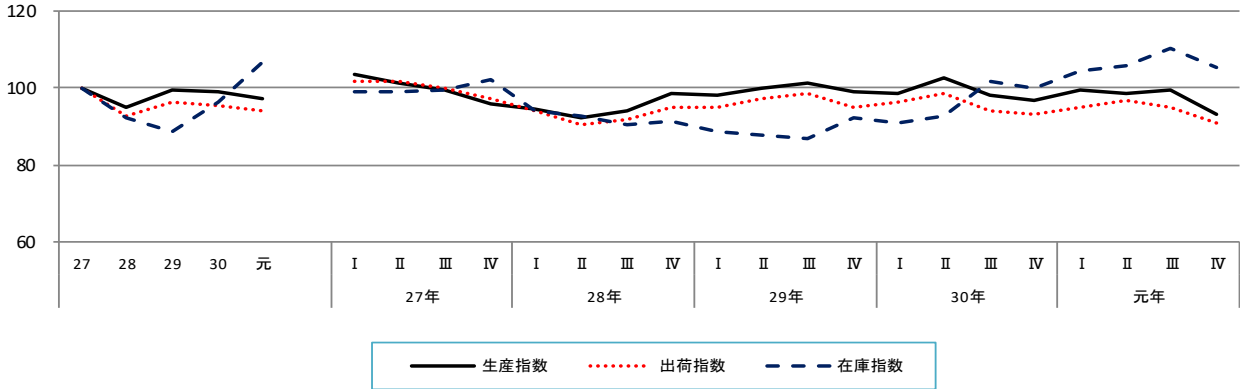
	ウェイト	出荷指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		27年	28年	29年	30年	元年	27年	28年	29年	30年	元年
鉱工業	10000.0	100.0	81.4	83.0	81.4	77.4	▲ 4.9	▲ 18.6	2.0	▲ 1.9	▲ 4.9
最終需要財	6700.4	100.0	92.8	96.5	95.6	94.1	▲ 2.2	▲ 7.2	4.0	▲ 0.9	▲ 1.6
投資財	2765.9	100.0	91.2	99.5	101.5	102.4	▲ 3.0	▲ 8.8	9.1	2.0	0.9
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	2765.9	100.0	91.2	99.5	101.5	102.4	▲ 3.0	▲ 8.8	9.1	2.0	0.9
消費財	3934.5	100.0	93.9	94.5	91.4	88.3	▲ 1.6	▲ 6.1	0.6	▲ 3.3	▲ 3.4
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	3934.5	100.0	93.9	94.5	91.4	88.3	▲ 1.6	▲ 6.1	0.6	▲ 3.3	▲ 3.4
生産財	3299.6	100.0	58.5	55.6	52.6	43.5	▲ 9.8	▲ 41.5	▲ 5.0	▲ 5.4	▲ 17.3
鉱工業用生産財	1376.2	100.0	59.7	66.5	60.7	44.8	3.7	▲ 40.3	11.4	▲ 8.7	▲ 26.2
その他用生産財	1923.4	100.0	57.6	47.8	46.8	42.5	▲ 17.6	▲ 42.4	▲ 17.0	▲ 2.1	▲ 9.2

第8表 財別在庫指数

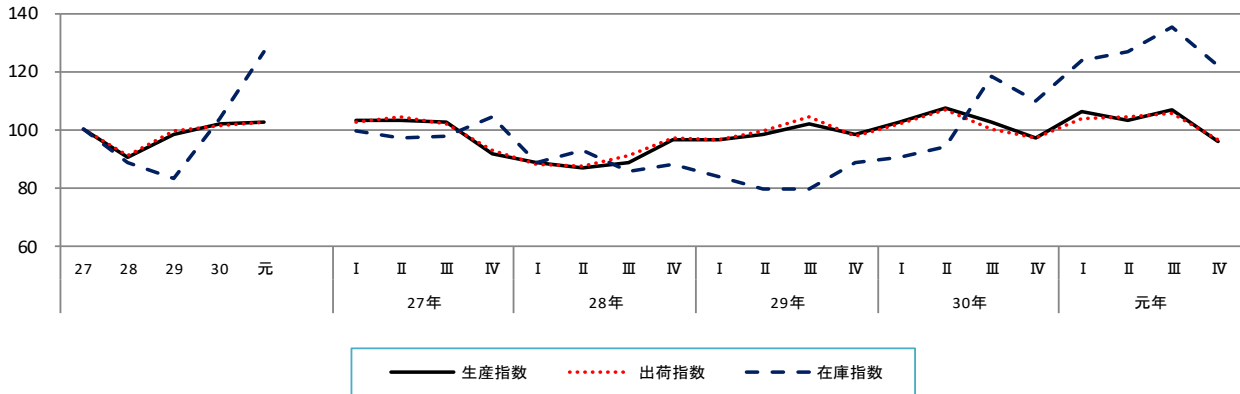
平成27年=100.0

	ウェイト	在庫指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		27年	28年	29年	30年	元年	27年	28年	29年	30年	元年
鉱工業	10000.0	100.0	79.3	74.2	75.6	79.7	▲ 8.9	▲ 20.7	▲ 6.4	1.9	5.4
最終需要財	6230.0	100.0	92.3	88.9	96.4	106.6	3.7	▲ 7.7	▲ 3.7	8.4	10.6
投資財	2559.3	100.0	89.0	83.5	103.7	126.6	6.0	▲ 11.0	▲ 6.2	24.2	22.1
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	2559.3	100.0	89.0	83.5	103.7	126.6	6.0	▲ 11.0	▲ 6.2	24.2	22.1
消費財	3670.7	100.0	94.6	92.7	91.2	92.6	2.1	▲ 5.4	▲ 2.0	▲ 1.6	1.5
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	3670.7	100.0	94.6	92.7	91.2	92.6	2.1	▲ 5.4	▲ 2.0	▲ 1.6	1.5
生産財	3770.0	100.0	57.9	49.8	41.4	35.4	▲ 24.3	▲ 42.1	▲ 14.0	▲ 16.9	▲ 14.5
鉱工業用生産財	1832.5	100.0	76.2	70.2	53.0	52.5	▲ 37.0	▲ 23.8	▲ 7.9	▲ 24.5	▲ 0.9
その他用生産財	1937.5	100.0	40.5	30.6	30.5	19.2	▲ 6.4	▲ 59.5	▲ 24.4	▲ 0.3	▲ 37.0

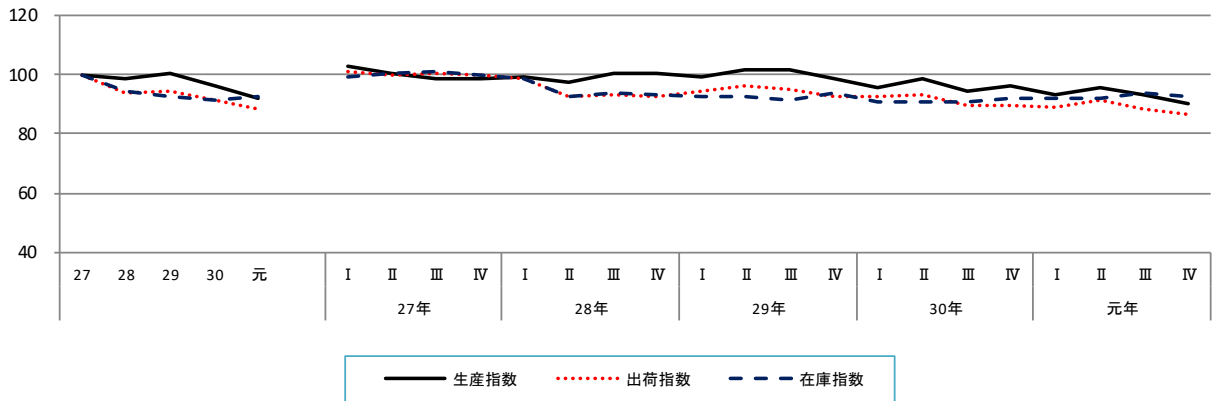
第11図 最終需要財 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数]



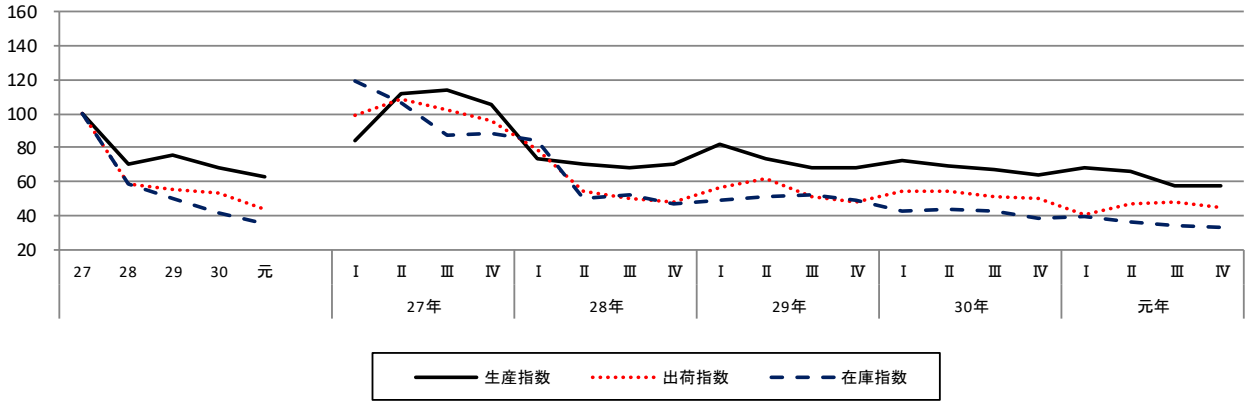
第12図 建設財 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数]



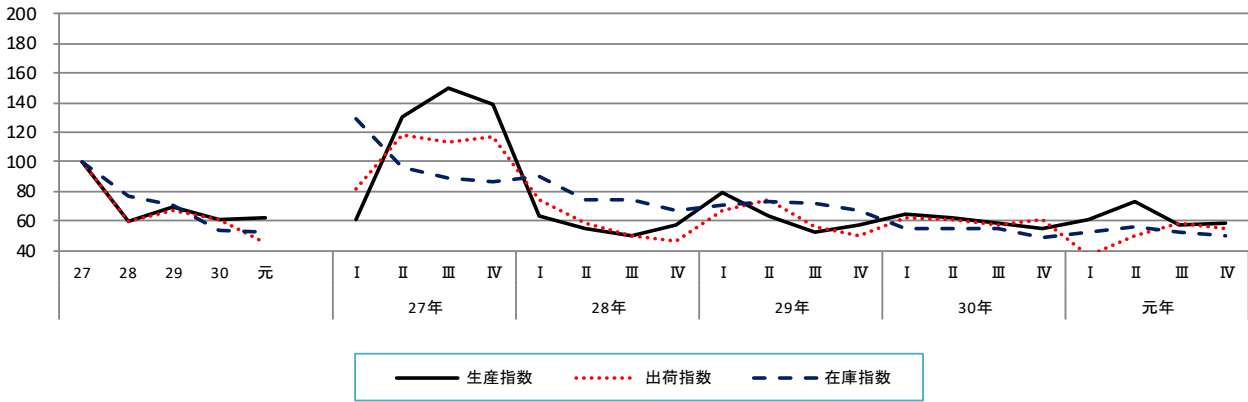
第13図 非耐久消費財 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数]



第14図 生産財 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数]



第15図 鉱工業用生産財[年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数]



第16図 その他用生産財 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数]

